


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成27年 8月17日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第1号	質問議員	12番	渡辺 良孝 
件名	1. 御殿場線でのIC乗車券の利用を 2. 「山の日」の施行を祝うイベントを			
要 旨				
<p>1. 御殿場線でのIC乗車券の利用を</p> <p>御殿場線の沿線を始め、近隣5市5町の首長・議長で構成する「御殿場線利活用推進協議会」では、東海旅客鉄道（株）へ毎年、利用者の利便性や輸送力の向上、駅施設の整備等などの要望活動を行っている。しかし、東海旅客鉄道（株）からは毎年厳しい回答が出されている。御殿場線沿線の市町にとっては、国鉄時代から生活に密着してきた路線で、輸送力の増強には大きな期待を寄せている。特に、近年では時代の要請により、沿線住民生活はもとより観光振興の観点からも、IC乗車券利用への期待が大きくなっている。しかし、国府津駅から御殿場駅の間はその設備がなく、何度か一般質問がされている。</p> <p>当町には、「小さな拠点づくり事業」を推進する山北駅、「東山北1000計画」の拠点である東山北駅、更に、丹沢湖・中川温泉の玄関口として観光振興の拠点となる谷峨駅の3駅がある。今、いずれの駅も住民の利便性はもとより、地域振興や観光振興策が具現化しつつあり、JR各社への期待が大きくなってきている。そこで次の2点について質問をする。</p> <p>1) 東海旅客鉄道（株）の回答では、「御殿場から国府津の間は、当該区間の利用が少ないことから、トイカのエリアにすることは考えていない」とのことである。御殿場から国府津の間の乗降客が少ないとの理由だが、現実的にはこの間はスイカとパスモの利用者が多くを占めている。そのようなことから、特にIC乗車券「スイカ」の利用について、東京圏である東日本旅客鉄道（株）と東海旅客鉄道（株）の相互の連携を取るよう、積極的に要望していくべきでは</p>				

ないか。

2) 国土交通省ではこの7月に、平成32年(2020年)までに、相互利用可能な交通系ICカードをすべての都道府県で使えるようにするという目標を定めた。このことは、今後の公共交通対策に期待が持てると思う。今、東京90キロ圏の世界遺産の富士山を中心としたその周辺に、国内外から多くの観光客が訪れている。その主要な電車路線は御殿場線である。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国内外からの観光客に、より良いおもてなしができるよう、この機会に、御殿場線でのIC乗車券「スイカ」が使えるよう県を通して国に支援を要望していくべきではないか。

## 2. 「山の日」の施行を祝うイベントを

平成28年(2016年)8月11日を「山の日」として国民の祝日が施行される。すでに全国では大阪府・群馬・長野・静岡県など条例で制定されている府県や市町村もある。このように早くから取り組んでいる自治体などは、山が日常生活に大きなかわりがあり定めてきたことと思う。

西丹沢や大野山など、観光面で期待する双方で趣きを持った山も、地元にとっては災害などの負の印象も残るところである。しかし、「山の日」が、山の恩恵に感謝する日として制定され、毎年8月11日が国民の祝日となる。このことは、多くの皆さんの山への意識が高まり、山を持つ当町にとっても山の恵みを生かすための意識改革のチャンスであると思う。平成28年8月の施行日に先駆け、山北らしさを出した「山の日」の施行を祝うイベントを、観光協会や森林組合などに町が提唱し、山の愛好者が参加する西丹沢山開きや、大野山開きに併せ、地域皆さんの協力を得る中で開催したらどうか。